



# はしもと

## 〈病院理念〉

地域に根づいた患者様に信頼される病院づくり

## 〈基本方針〉

～心のかよう病院を目指して～

患者様のため、まごころの医療を目指します  
地域の皆様から信頼される病院づくりに努めます  
常に新しく良質な医療ができるように心がけます  
皆様の健康増進、疾病予防のお役に立ちたいと願っております

## 〈病院運営のコンセプト〉

- 1.気づきの医療
- 2.わかりやすさ



回復期リハビリテーション病棟：理学療法士

【ロコモティブシンドローム:運動器症候群】

「運動器の障害」により、「ねたきり」や「要介護」リスクの高い状態になる事です。日本整形外科学会が提唱しており、変形性関節症と骨粗鬆症を中心に推計患者数は約4700万人と言われています。「運動器自体の疾患(変形性関節症、骨粗鬆症に伴う円背、脊柱管狭窄症など)」と「加齢による運動器機能不全(筋力低下、バランス低下)」があります。今回「加齢による運動機能の低下」における転倒リスクを軽減する為に、簡単なチェック方法と筋力強化方法を紹介します。

＜ロコチェック＞

- ①片脚立ちで靴下がはけない。
- ②家の中でつまづいたり滑ったりする。
- ③階段を上るのに手すりが必要である。
- ④家のやや重い仕事が困難である。
- ⑤2kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難である。
- ⑥15分くらい続けて歩くことができない。
- ⑦横断歩道を青信号で渡りきれない。

【転倒防止！下肢の筋力訓練】

バランスに特に関与していると言われていた中殿筋(お尻の筋肉)の簡単な筋力訓練方法のポイントを紹介します。



体を支えている足(青色)よりも、斜め後ろへ足を上げます(黄色)。つま先は正面を向けます(赤色)。不安な方は手すりを持って下さい(緑色)。

回復期リハビリテーション病棟：作業療法士

～レクリエーション活動を通じた作業療法の取り組み～

作業療法とは「身体又は精神に障害のある者、またはそれが予測される者に対し、その主体的な生活の獲得を図るため、諸機能の回復、維持及び開発を促す作業活動を用いて、治療、指導及び援助を行うこと。」と定義されています。橋本病院でも食事、更衣、排泄、入浴などの日常生活場面に介入したり、作業活動を通して身体機能にアプローチし、その方に適した病前の生活に戻れるようにリハビリを行っています。

当院では作業療法を訓練室で行うだけでなく、調理や人との関わりの要素を入れた作業活動を行っています。2月はパレンタインデーのチョコレート作りを実施しました。ただ作るのではなく、準備や片付けなど手順の順序だてを行う遂行機能、チョコレートを形成する指先の巧緻性、物を掴んだり離したりする目と手の協調運動、他患者とのコミュニケーションなど、全ての動作や行動に目的をもって行っています。また、自分たちで作ったものを自分たちで食べることで達成感や満足感が生まれ、成功体験として患者様の自信となり、リハビリや日常生活の中でも活かしていくことが出来ます。



ソーシャルワーカー

カンファレンスについて

回復期リハビリテーション病棟に入院されている患者様に対し、病棟では月に1回『カンファレンス』を実施しています。

カンファレンスとは現時点でのリハビリの進行状況の報告や1ヶ月後の目標・退院目処・退院時の目標を患者様・ご家族様を交えて一緒に話し合いながら決めていく話し合いの場の事です。



カンファレンスは月曜日～土曜日の間で開催しており、出席者は本人様・家族様・医師・看護師・リハビリスタッフ・ソーシャルワーカーです。入院生活を送る上で身体状況やリハビリの状況が一番気になる場所だと思います。そういった点を各専門スタッフより患者様一人一人に約30分間ですが時間を設け、カンファレンスと言う形でお伝えし、一緒に今後の目標を決めさせてもらっています。「いつまで入院できるのか?」「今の体の状態、リハビリを行いたいどの程度まで回復するのか?」患者様、ご家族様が知りたい病状や情報について話し合い、課題の解決をしていきます。入院中の不安や気になる事、退院後の不安など、なんでもお気軽に相談ください。

認知症治療病棟

DTワーカージョイントセミナー

認知症治療病棟では、10年ほど前より病棟での生活にダイバーショナルセラピーを取り入れています。今回、その取り組みを報告するためのセミナーを平成27年1月25日に橋本病院で開催いたしました。病棟内の環境を見学してもらい病棟での取り組みを看護師、作業療法士、介護福祉士より報告し、患者さんとのセッションを見学してもらいました。様々な県から参加していただいたり、午後からのセッションの見学には近隣の施設の方にも多数参加していただきました。今後もよい刺激を患者様に提供できるよう病棟内で検討して日々実践していきたいと考えております。



通所リハビリテーションセンターはしもと

遊ビリテーション



2月11日に紙芝居と新聞遊びをしました。新聞遊びでは、真剣な表情で良い運動になりました。紙芝居は皆様に大変喜ばれていました。

創作活動



いよいよ春がめぐるってきました。3月といえば…「ひなまつり」今回は金色の折り紙をたくさん使って華やかに仕上げました。吊るし雛も様々な飾りがあって素敵です。

スマイルカフェ



2月14日スマイルカフェ開催。暖かい日和に恵まれて多くの方の参加がありました。コースター作り、紙芝居をし大変好評でした。



関節痛体操を行ないました。春となり活動量が増えます。まずは痛みの予防から始めましょう。

お知らせ

- ・4月11日(土):スマイルカフェ開催
- ・ボランティア募集しています(踊り、手品、楽器演奏等)
- ※4月より介護保険が改訂となります。ご協力をお願いします。

外来

物理療法について

「物理療法」は身体に物理エネルギー(温熱、寒冷、電気刺激、光線、その他)を加えることで、生理的生化学的変化を起こし、血液循環の改善、筋の緊張や痛みを除去、軽減するものです。膝や肩などの関節痛や腰痛などの軽減や運動しやすくする事を目的とします。当院外来では、「電気療法」「温熱療法」「力学的療法」を行っています。

1. 低周波治療器

神経や筋肉を電気刺激し、随意運動能力の回復を目的としています。痛み発生物質や老廃物を排泄し栄養が供給され局所症状も改善します。適応としては関節可動域の拡大、随意性筋力の向上、廃用性筋萎縮の改善などがあります。

2. ホットパック

保温材を詰めたパックを加温し、患部に当てると組織の温度が上昇し血管が拡張します。そのため、局所に栄養が供給され、回復力が高まると同時に筋緊張が低下し、疼痛や知覚異常を緩和、炎症を軽減します。適応としては慢性疼痛(打撲、捻挫、脱臼、骨折、関節リウマチ、変形性関節症、関節拘縮、関節周囲炎、変形性脊椎症、骨粗鬆症、腰椎症、筋肉痛)などがあります。



ご希望の方は、外来スタッフにお気軽にお声掛けください。

橋本病院指定居宅介護支援事業所

運転免許証を自主返納すると割引きなどのお得なサービスが受けられます！

香川県では運転免許証を自主返納した県内在住の65歳以上の方が優遇店で「運転経歴証明書」を提示すると、下記内容の各種特典(サービス)を受けることができます。

- ・バス、タクシーなどの運賃割引
- ・コンビニ等で商品割引ポイント加算
- ・飲食店での代金割引、ドリンクサービス
- ・温泉施設利用料金割引
- ・配食の割引
- ・旅行代金割引
- ・カット代金割引



○手続き

ご本人が運転免許センター又は住所地を管轄する警察署に行く。運転免許取り消し申請書を作成し提出する。「運転経歴証明書」の交付を受ける(身分証明書として生涯使用可能)。

○申請に必要な物

運転免許証・交付手数料1,000円(香川県証紙)・印鑑  
警察署で手続きをする場合は「証明写真」1枚(縦3cm×横2.4cm)



★運転免許証を有効期限内に返納しなければ運転経歴証明書の交付を受けることはできません。

メディコポリス観音寺デイサービスセンターはしもと

創作活動  
ちぎり絵作り



メディコポリス観音寺では午前中の創作活動の時間を利用し、翌月の壁画を利用者様に作成していただいております。手先の運動を兼ねたちぎり絵では細かい所まで集中して取り組んでくださり、毎月の完成が楽しみです。



生活リハビリ  
ぜんざい作り



毎月に1度利用者様自身でおやつ作りを体験して頂く「生活リハビリ」を実施しております。先月は白玉ぜんざいを作りました。利用者様には白玉を粉からこねて作って頂きました。お互いに「上手いことこねるなあ」「まん丸やなあ」「美味しそう」などと褒め合いながら楽しそうに作ってくださり、美味しく召し上がられていました。



交流会  
銭太鼓



当施設では、ボランティアの方をお呼びし、家族様・利用者様に楽しんで参加して頂けるよう交流会を開催しております。先月は「銭太鼓クラブ」の皆様が銭太鼓のバチを使った演舞や手品を披露してくださいました。簡単な振り付けを教えてもらい曲に合わせて一緒に踊って楽しんでいました。



栄養部

2月・3月のイベント食をご紹介します!

**節分**  
 巻き寿司  
 さばの塩焼き  
 炊き合わせ  
 清汁  
 節分豆

**ひなまつり**  
 桃の節句寿司  
 若竹煮  
 清汁  
 三色ようかん  
 ひなあられ

**ごちそうの日(赤飯)**  
 赤飯  
 天ぷら盛合せ  
 かぶらの柚子あんかけ  
 お浸し  
 赤出し汁

**病棟バイキング**

**通所リハおやつバイキング**

当院では、さまざまなイベント食を提供しています。

医療安全管理体制委員会

転倒事故を防ごう!

生活している以上、転倒は誰にでも起こり得るアクシデントです。しかし、環境面で配慮することで防げる転倒もあります。ではまず、転倒が起こりやすい場所をチェックしてみましょう。

ぬかづけ  
 ぬれているところは、すべりやすい  
 かいだん、段差があるところは、転びやすい  
 片づけしてない部屋は、つまずきやすい

転倒しやすい場所

●ぬれているところ

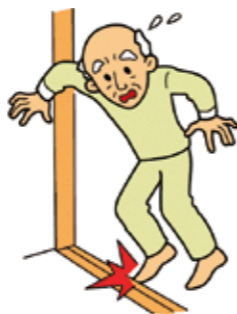
ぬれている場所はすべて転倒するリスクが高まります。台所、風呂場などの他、屋外では、雨の日の横断歩道の上・マンホールの上なども要注意です。なお、風呂場では、入浴剤を使用するとさらにすべりやすくなります。

●階段・段差

慣れ親しんだはずの家であっても、ちょっとした段差(敷居やふすまのサシ)や玄関でつまずくことがあります。また、こたつやふとんに引っかかって転倒してしまうケースも多いようです。階段の場合、最後の一段が特に要注意です。

●片付けていない部屋

当然のことですが、片付けがされていない部屋では、転倒する危険が高まります。



地域連携部

平成25年12月1日から行っている事前訪問(入院されている病院へ訪問し、心身状態の把握や入院についての説明等)の平成26年10月～平成27年2月の実績(回復期リハビリテーション病棟対象)を紹介します。

- 1ヶ月の平均訪問件数:27.5件
  - 入院されている病院から紹介状が届いて訪問するまでの平均日数:5.3日
  - 紹介状が届いて当院へ転院されるまでの平均日数:12.5日(大変お待たせして申し訳ございません)
- ※事前訪問により患者様・家族様が安心し、早期に充実したリハビリが提供できるよう心がけています。

対象となる方

- 1.脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症腕神経叢損傷の発症又は手術後、義肢装着訓練を要する状態から2ヶ月以内。高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の発症から2ヶ月以内。
- 2.多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折もしくは手術後から2ヶ月以内。
- 3.外科的手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後から2ヶ月以内。
- 4.大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は関節の神経、筋又は靭帯損傷後の1ヶ月以内。
- 5.股関節又は膝関節の置換術後の状態の1ヶ月以内。

リハビリは365日、  
 1日2～3時間提供させていただきます。  
 また、チーム医療で早期に退院できるように取り組んでいます。



入院相談はお気軽にご連絡下さい!

橋本病院 地域連携部  
 窓口:大西宏美  
 電話:0875-63-3552(直通)  
 0875-63-3311(代表)



移動も安心のサービス

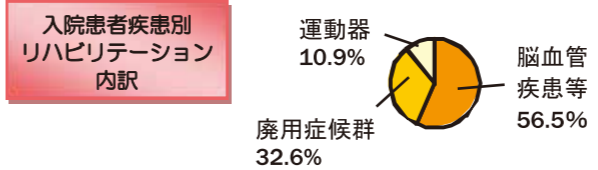
転院の際の無料送迎をしております。ご希望の方はお気軽にお申し出下さい。



事務部

～診療実績(H27.2月)～

病棟名	1病棟(29床)	2病棟(60床)	3病棟(60床)
入院料	回復期リハ	回復期リハ	認知症治療
平均入院患者数	28.6人	59.4人	58.6人
平均在院日数	65日	84日	311日
在宅復帰率	68.8%	76.5%	—



健康診断のご案内

健康診断は、生活習慣病の予防や早期発見の為には欠かせません。自分の健康状態について正確な知識を持ち健康管理を続ける為に健康診断を上手に役立ててください。

- 一般健診
- 定期健診
- 生活習慣病予防健診
- 施設健診

年齢や加入している医療保険により健康審査が異なります。

\*当院でも健康診断を実施しておりますので、受診の際はお問い合わせ下さい。(要予約)

国民健康保険被保険者証  
 国民健康保険高齢受給者証 } 期限:平成27年3月31日

新しく交付された証書がお手元に届きましたら、受付窓口までご提示をお願いいたします。

## 講演会のお知らせ



脳卒中になっても、助かる確率は高くなっています。しかしながら、その後の生活に不安が残ることには変わりありません。本講座では、自らの生活を取り戻すための、脳卒中後のリハビリテーション医療について、具体例を交えわかりやすくお話しします。

2015年

6月27日 土 14:00-16:00

三豊市市民交流センター  
三豊市豊中町本山甲192-1

受付 13:30~

14:00~15:00

「リハビリテーションは、今」

講師：橋本 康子 (医師・医学博士)

医療法人社団和風会 橋本病院 理事長  
日本慢性期医療協会 常任理事  
慢性期リハビリテーション協会 副会長

15:00~16:00

「もし脳卒中になっても」

講師：吉尾 雅春 (理学療法士・医学博士)

千里リハビリテーション病院 副院長  
医療法人社団和風会 橋本病院 顧問

## 【お申し込み・お問い合わせ】

医療法人社団和風会 橋本病院 地域連携室

TEL 0875-63-3552

FAX 0875-63-2651

E-mail wafukai@gaea.ocn.ne.jp

## 募集のお知らせ

募集

薬剤師  
看護師・准看護師  
介護福祉士・介護職  
常勤・パート

まずは、病院見学にお越し下さい！  
給与等詳細は、当院ホームページでも  
閲覧できます。

<http://www.wafukai-hashimoto.jp>

※勤務形態等については、柔軟に対応できます。TEL0875-63-3311(人事担当:安藤)

## ボランティアのご協力

ボランティアのご協力をしていただける方を募集しています！

内容として・・・(踊り、手品、紙芝居、大正琴や話し相手・介護など)

橋本病院へご協力していただける方は、連絡先:0875-63-3311 担当者:宮本 美恵子

メディコポリス観音寺へご協力していただける方は、連絡先:0875-23-3311 担当者:森 香代子

上記の担当者までお問い合わせ下さい。

今回は「銭太鼓倶楽部」の皆様ボランティアに来て頂きました。

医療法人社団和風会 橋本病院

〒768-0103

香川県三豊市山本町財田西902-1

TEL:0875-63-3311

FAX:0875-63-2651

入院相談直通電話:0875-63-3552

E-mail:wafukai@gaea.ocn.ne.jp

ホームページ:<http://www.wafukai-hashimoto.jp>

発行元:橋本病院 広報委員会

医療 回復期リハビリテーション病棟 89床  
認知症治療病棟 60床介護 橋本病院指定居宅介護支援事業所  
通所リハビリテーションセンターはしもと  
メディコポリス観音寺デイサービスセンターはしもと  
橋本病院観音寺指定居宅介護支援事業所